

エコアクション21

環境経営レポート

取組期間
2021年3月～2021年5月



初版
発行 2021年7月1日

目 環境経営レポート目次

1. 環境経営方針	P1
2. 事業概要	P2
3. エコアクション21推進体制	P3
4. 中期環境経営目標	P4
5. 環境経営計画及び実施状況評価	P5
6. 短期環境経営目標の実績、及びその評価と今後の取組内容	P6
7. 具体的取組状況	P7-1.2.
8. 環境関連法規の遵守評価	P8
9. 代表者による全体の評価と見直し	P9

1.環境経営方針

環境理念

株式会社 大丸建設は、建設業に携わる事業者として、人と自然を大切にし、よりよい地球環境の創造及び地域社会に貢献することを目指すため、持続可能な環境経営方針を定め、以下の事項について積極的に環境活動を推進する。

行動指針

- (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - ・電気 ガソリン 軽油等の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
- (2) 廃棄物の削減
 - ・事業活動に伴う建設産業廃棄物について、分別回収による資源の有効活用及びリサイクル率100%に努めます。
 - ・一般廃棄物の分別活動を推進して、適切なりサイクルに努めます。
- (3) 水使用量の削減
 - ・水道使用時の水量を削減し、総排水量の削減に努めます。
- (4) 地域貢献
 - 地域の清掃活動を実施して、地域に貢献していきます。
- (5) 環境関連法規制の遵守
 - ・事業に関する環境関連法規制等を遵守します。

社員全員がこの環境経営方針を認識し、全員でEA21に取り組んでいきます。PDCAを回すことにより、環境経営の継続的改善に努めます。

制定：2021年3月1日



株式会社 **大丸建設**

代表取締役 河野公史

2. 事業の概要

(1) 事業者名 株式会社 大丸建設

代表取締役 河野公史

(2) 所在地

本社 : 〒878-0006 大分県竹田市大字平田2188番地
資材置場 : 〒878-0006 大分県竹田市大字平田216番地外

(3) 環境保全関係の担当者連絡先

環境管理責任者 : 工藤勝大
連絡担当者 : 相馬雅彦
連絡先 TEL:0974-63-3528 FAX:0974-63-3537

(4) 事業規模

創業年 1923年(大正12年)8月
資本金 4,000万円
社員数 16名
売上高 502,292千円

(5) 事業内容

【建設業許可】

許可番号 大分県知事 許可(特一28)第2013号
建設業の種類 土木工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業
舗装工事業、解体工事業

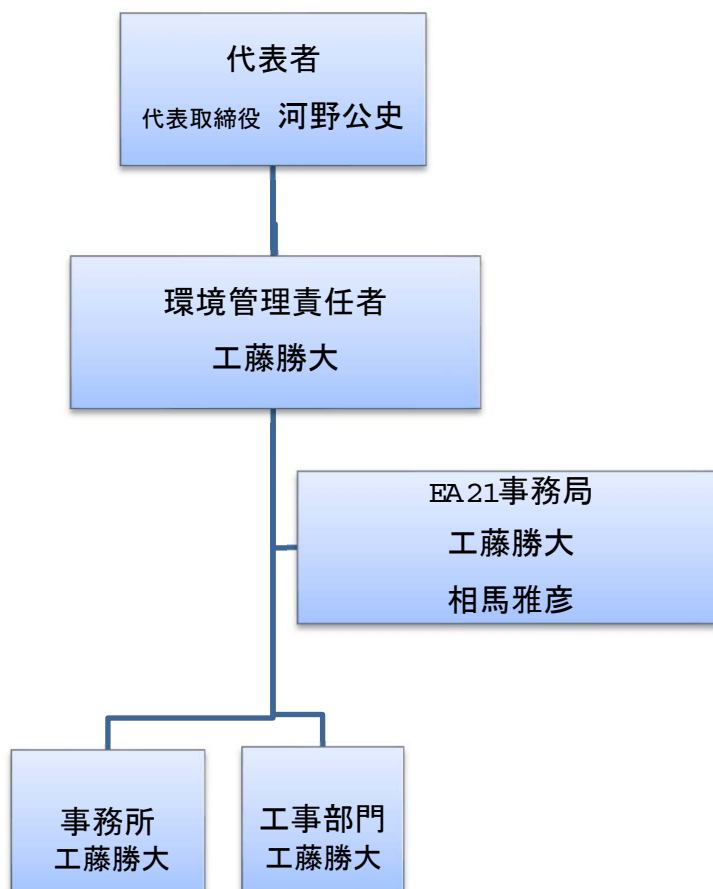
(6) 環境年度

期首: 6月 期末: 5月

(7) 認証登録範囲

株式会社大丸建設の全組織、全活動を認証登録範囲とする。

3. EA21推進体制



代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の制定 ・環境組織の明確化、必要な資源の投入 ・全体の評価と見直し
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・マネジメントシステムの構築、実施、維持 ・目標管理票の作成と進捗管理 ・目標に対する実績や問題、改善の社長報告 ・環境コミュニケーションの総括窓口 ・教育・訓練の総括(緊急事態の想定、訓練含む)
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・集計表作成 ・文書、記録作成 ・環境活動進捗の把握
事務所責任者 部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動の社員への周知 ・環境管理責任者への報告 ・改善提案のまとめと提言
社員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動の実施 ・部門責任者への報告 ・改善提案

4. 中期環境経営目標(全社)

会計年度 期首:6月 期末:5月

		実績(基準値)	環境経営目標		
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
番号	項目	基準年実績	環境目標	環境目標	環境目標
1	二酸化炭素排出量の削減	112,813 kg-CO2	111,685 1%削減	110,557 2%削減	109,429 3%削減
1-1	電気使用量の削減	14,064 kWh	13,923 1%削減	13,783 2%削減	13,642 3%削減
1-2	ガソリン使用量の削減	12,954 ℓ	12,825 1%削減	12,695 2%削減	12,566 3%削減
1-3	軽油使用量の削減	29,358 ℓ	29,064 1%削減	28,771 2%削減	28,477 3%削減
2-1	一般廃棄物のリサイクル推進	—	分別活動の推進	分別活動の推進	分別活動の推進
2-2	建設産業廃棄物のリサイクル率100%維持	リサイクル率 100%	100%	100%	100%
3	水使用量の削減	140 m3	基準年度実績 の1%削減 138.6	基準年度実績 の2%削減 137.2	基準年度実績 の3%削減 135.8
4	地域貢献	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年

☆化学物質の使用はなし。

☆環境経営の観点から考慮して、産業廃棄物及び一般廃棄物は行動目標とする。

☆☆二酸化炭素排出量=①電気使用量×0.564+②電気使用量×0.371+ガソリン使用量×2.32
+軽油使用量×2.59

※電気のCO₂排出係数

①事務所:”まちづくりたけた(株)”の2018年度調整後の排出係数 0.564kg-CO₂/kWh

②現場事務所:”九州電力(株)”の2018年度調整後の排出係数 0.371kg-CO₂/kWh

☆☆☆灯油は除外(季節性がある為)目標設定せず日常管理とする。

5. 環境経営計画及び実施状況評価

項目	具体的な活動	頻度	推進担当者	実施責任者	実施状況評価	
					本社	現場
1. 二酸化炭素排出量 1-1.電気使用量の削減	①昼休みの消灯	毎日	環境管理責任者	総務部長	○	○
	②使用時以外のトイレの消灯	毎日	環境管理責任者	総務部長	○	○
	③OA機器,空調機の退社時の電源オフ	毎日	環境管理責任者	総務部長	○	○
	④空調機の室内温度設定・実施の徹底	毎日	環境管理責任者	総務部長	○	—
	⑤空調機フィルターの定期的清掃	年1回	環境管理責任者	環境管理責任者	○	—
	⑥日よけ、ブラインドによる室温上昇防止(夏季)	毎日	環境管理責任者	総務部長	○	—
	⑦使用しない設備・機械の電源遮断、プラグ抜き	毎日	環境管理責任者	総務部長	○	○
	⑧節電表示の徹底	毎日	環境管理責任者	環境管理責任者	○	×
	⑨使用時季(夏・冬)以外はブレーカーを切る(空調機)	適時	環境管理責任者	総務部長	○	—
1-2 ガソリン使用量の削減	①社用車エコドライブの推進・徹底(アイドリングストップ、経済運転など)	毎日	環境管理責任者	次長	△	△
	②車両点検の実施(車の状況、タイヤ空気圧チェックなど)	毎日	環境管理責任者	取扱責任者	○	○
	③低燃費車を増やす	将来	環境管理責任者	環境管理責任者	—	—
	④社用車の車両別燃費の把握	毎月	環境管理責任者	取扱責任者	○	○
1-3.軽油使用量の削減	①社用車エコドライブの推進・徹底(アイドリングストップ、経済運転など)	毎日	環境管理責任者	現場責任者	△	△
	②重機機械エコドライブの推進・徹底(アイドリングストップ、経済運転など)	毎日	環境管理責任者	現場責任者	○	○
	③車両点検の実施(車の状況、タイヤ空気圧チェックなど)	毎日	環境管理責任者	現場責任者	○	○
	④低燃費車を増やす	将来	環境管理責任者	環境管理責任者	—	—
	④低排出ガス対策型機(2011年基準以降)を使用する	将来	環境管理責任者	現場責任者	—	○
	⑤社用車の車両別燃費の把握	適時	環境管理責任者	現場責任者	—	○
2. 廃棄物のリサイクル化 と廃棄物排出量 と廃棄物排出量 の削減 (一般・産廃共通)	①廃棄物の分別促進	毎日	環境管理責任者	環境管理責任者	○	○
	②コピー用紙の再利用(裏面の利用)	毎月	環境管理責任者	総務部長	○	○
	③リサイクル促進(建設副産物リサイクル率100%)	毎月	環境管理責任者	環境管理責任者	○	○
	④適切な業者の選定と引渡	適時	環境管理責任者	環境管理責任者	—	○
	⑤マニフェスト伝票の適切な管理	適時	環境管理責任者	総務部長	○	○
3. 水使用量の削減	①節水ステッカー表示	毎日	環境管理責任者	総務部長	○	—
	②節水の工夫と実施(適量の給湯、出しっ放し防止など)	毎日	環境管理責任者	環境管理責任者	○	—
4. 地域貢献	①ボランティア活動の実施・道路清掃・地域の草刈	年2回	環境管理責任者	環境管理責任者	○	○

評価基準 ○:出来た
△:改善の余地あり
×:出来なかった

6. 短期環境経営目標の実績、及びその評価と今後の取組内容

取組期間：2021年3月～2021年5月(2020年度)

項目	2020年 3-5月度 実績	2021年 3-5月度 目標値 (△1%)	2021年 3-5月度 実績	達成度	判定	評価及び今後の取 組み内容
CO2排出量(kg-CO2)	25,087	24,836	31,677	78%	×	CO2排出量の環境経営目標は未達成だった。受注工事の特性が影響。まだ、取組みが浅いので、今後は社員の意識向上に努めていく。
電気使用量 (kWh)	4,102	4,061	3,536	115%	○	電気使用量は目標達成 エアコン等こまめに調整する意識が芽生えたことが要因。
ガソリン使用量(ℓ)	3,265	3,232	4,979	65%	×	ガソリン使用量は目標未達成。現場が遠方であったためであるがエコドライブの推進をして省エネ運転への意識向上を図る。
軽油使用量 (ℓ)	6,010	5,950	6,995	85%	×	軽油使用量未達成。 河川災害工事が多く大型機械の使用が多かったことが影響。燃費に配慮した運転を推進していく。特にアイドリングストップ
一般廃棄物の リサイクル	—	分別活動推進	分別活動を推進した。	100%	○	環境経営目標は達成できた。 分別活動推進できた。(写真参照) 社内文書は裏紙使用を徹底 工事現場では、建設リサイクル法を順守するために保管場所の確保や分別活動の推進を実施した。特に建設産廃は仮置きをしないよう推進。 今後共、分別活動を徹底していく。
建設産業廃棄物の リサイクル (%)	100%	100%	100% (701.4t)	100%	○	
水使用量 (m ³)	39	38	41	93%	×	環境経営目標は未達。 節水活動は推進。 今後共、社員の意識向上に努めていく。

7. 具体的な取組状況

①CO2排出量削減



②水使用量削減



③分別活動の推進

本社事務所

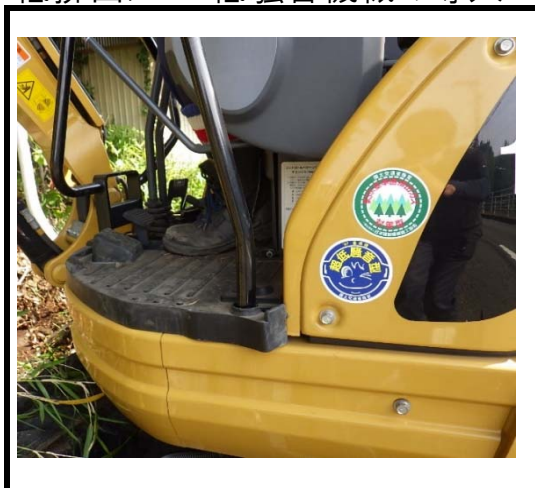


現場事務所

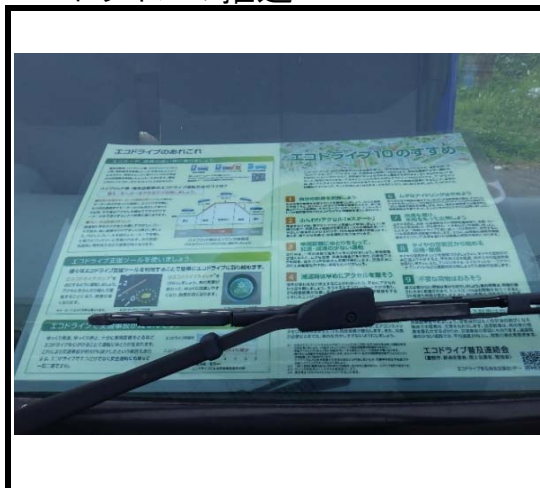


④環境への配慮

低排出ガス・低騒音機械の導入



エコドライブの推進



重機等の省エネへの取り組み



⑤地域貢献

ボランティア活動(公共施設の清掃)



8. 環境関連法規の遵守評価

遵守評価の結果、環境法規の違反はありません。

なお、関連機関からの指導や訴訟はありません。

環境法規制登録表(遵守評価表)

作成日:令和 3年 3月 1日

評価者:環境管理責任者

遵守評価日:令和 3年 7月 1日

法規制等	適用内容	対象設備、施設	届出	遵守事項 (法規制/自主規制)	頻度等	記録	遵守評価	コメント
家電リサイクル法	テレビ、(小型)エアコン使用	テレビ、	—	(法規制)				
PCリサイクル法	PC、周辺機器使用	家庭用エアコン パソコン類	—	1.リサイクル料支払い(発生時のみ) 2.廃棄時の適正処置(発生時のみ)	支払い時 廃棄時	領収書 業者報告書等	○ ○	該当なし 該当なし
自動車リサイクル法	社用車の適切な廃棄	社用車	—	(法規制) 1.リサイクル料支払い(発生時のみ) 2.廃棄時の適正処置(発生時のみ)	支払い時 廃棄時	領収書 業者報告書等	○ ○	該当なし 該当なし
フロン排出抑制法	業務用エアコンの廃棄 (フロン使用)	業務用エアコン室外機 業務用エアコンエアコン付重機 (フロン使用)	—	(法規制) 1.定期点検の実施(3ヶ月毎) 2.廃棄時の適正処理(発生時のみ) 処理委託書提出、処理報告書の受理	適時(3ヶ月毎) 廃棄時	点検表 領収書、業者報告書等	○ ○	該当なし 該当なし
建設リサイクル法	建設(土木)工事に係る資材 の再資源化の促進	土木工事資材		(法規制) 1.土木工事に係る分別、再資源化の実施 ○ 2.対象工事の7日前までの市町村長への届出 ○ 3.再資源化完了の書面報告	対象工事実施時	施工計画書	○ ○ ○	
騒音規正法	土木工事における騒音規制 の順守	特定建設作業		(法規制) ○ 1.規制基準に従った施工方法の実施 ○ 2.適切な工事時期の設定	対象工事実施時	施工計画書	○ ○	
振動規正法	土木工事における振動規制 の順守	特定建設作業		(法規制) ○ 1.規制基準に従った施工方法の実施 ○ 2.適切な工事時期の設定	対象工事実施時	施工計画書	○ ○	
廃棄物処理法	産業廃棄物の保管	産業廃棄物置場	—	(法規制) 1.表示板の設置	設置時	(表示板)	○	
				(自主規制) 1.清掃、漏洩防止	1回/週(確認)	—		
	委託契約書	委託業者	—	(法規制) 1.委託契約書(書面)	契約時	委託契約書	○	
	マニフェスト伝票管理	委託業者	—	(法規制) 1.マニフェストの発行、管理 2.各票の受領確認	処理委託時 発行後	マニフェスト伝票 マニフェスト伝票	○ ○	
				(法規制) 1.産業廃棄物運搬の表示 2.マニフェスト伝票の携帯	運搬時 運搬時		○ ○	
	産業廃棄物管理票交付等 状況報告	産業廃棄物		(法規制) 1.マニフェスト伝票の集計(4月~翌年3月の1年分) 2.マニフェスト伝票の携帯(同年4月~6月に届出)	1回/年 1回/年	産業廃棄物管理票交付等 状況報告書	○ ○	

9. 代表者による全体の評価と見直し

1. 全体の評価 報告:環境管理責任者

No.	評価事項	評価結果(指摘事項)	改善内容	期限	改善責任者
1	環境関連法規等の順守状況	遵守できている。 特に問題はなし			
2	環境目標の達成度 活動の進捗状況等の確認	①CO2排出量削減で、ガソリン使用量 軽油使用量、CO2排出量 が目標未達成だった。 ②他の項目は、目標を達成できた。 ③環境活動は、取組みを実施した。	ガソリンの環境目標達成率は 83% 軽油の環境目標達成率85% 車両、重機共、ecoドライブ アイドリングストップを推進し 次年度目標達成する。	令和4年 5月31日	環境管理責任者
3	環境に関する苦情や要望対応状況	苦情・要望などは発生していない。			
4	前回の代表者の指示事項への対応	今回は初年度につき、なし			
5	その他指示事項	特になし			

2. 全体の評価と見直し

実施日:2021.7.1

代表取締役 河野公史

全体の評価

従来から環境保全については都度、取組んできたが、環境負荷の現状を理解することなく表面上のみでよく分からないままやってきた。環境目標(CO2排出量削減)については、それらの社員教育が十分でない為に目標を達成できなかった事も要因である。それらを踏まえ改善し、次年度には目標達成したい。その他の項目では環境目標を達成出来ていたもので、今後の推移を見守りたい。これからがスタートだと考え、PDCAサイクルを行い、少しでも環境保全に寄与していきたい。

見直し事項

No.	環境マネジメントシステムの見直し事項	見直し結果	改善内容	期限	改善責任者
1	環境経営方針の変更の必要性	今回は運用開始してまもないので 変更の必要性なしと判断する。	特になし		
2	環境経営目標、環境経営計画の変更の必要性	目標達成の為、重機のeco運転、アイドリングストップの推進を追加する。	重機のeco運転、アイドリングストップの推進	継続	環境管理責任者
3	実施体制	今回は運用開始してまもないので 変更の必要性なしと判断する。	特になし		